



本号の主な内容

2面 平成22年度 総支部長・支部長、各委員決まる
3面 技術情報共有発表会を開催 6件の発表を実施
【学会の目・眼・芽】第17回 小野良平
4面 建設の現場で働く人のための退職金「建退共制度」について
【緑滴】公園緑地の利用の方法、意義の変化に想う
11月は「建設業取引適正化推進月間」立入検査等を実施



都市緑化キャンペーンのもうよう

都市緑化月間

都市緑化キャンペーンを開催

全国各地で多彩なイベントを開催

10月は都市緑化月間。10月1日から31日を「都市緑化月間」として、国営公園の無料開放など全国で様々なイベントが実施される。10月1日には、東京・有楽町駅前広場で、都市緑化キャンペーンが開催され、日本造園からは佐藤四郎前会長が参加。キャンペーンのメ

都巿緑化月間は、「ひろいもの。育てようみどりの都市」を全国統一テーマ

に、国及び地方公共団体が関係諸団体の参加と協力を得て、都市緑化推進のための諸活動を行い、地域住民の緑化意識の高揚を図り、もって都市の緑化及び都市

公園等の整備の促進を図る。公園等の整備の促進を図る。都市における潤いのある緑豊かな生活環境を確保し、豊かさとゆとりを実感できる国民生活を実現する。都市公園等の整備を達成計画においても、都市緑化等が国民にとって最も重要な役割を考えて、造園関連諸事業に関わっています。

今まで造園関係にほとんど縁のなかで、簡単に経歴を紹介します。約38年間、わたり新潟大学農学部に勤務し、園芸学研究室で教育・研究に携わってきました。主な研究は「絶滅危惧種ヒメサユリの増殖と保護」です。講義は「花卉園芸学」を中心、「蔬菜園芸学」や「果樹園芸学」も担当したこともありましたが、「造園学」は非常勤講師の方にお願いしました。そのため、「造園学」は大学時代に講義を受けたのみで、造園関連の教育・研究にはほとんど縁がありませんでした。しかし、大学在職中に国、県や市の各委員会委員に委嘱され、国営越後丘陵公園、新潟県立植物園や越後三国川ダム公園などの基本構想・計画の委員会に

樹林

参加し、造園学専門家と意見交換できることは今では私の貴重な財産となっています。今回、日造協理事となつたことから、この協会の目的に沿つた役割を考え、造園関連諸事業に関わっていきたいと思っています。

今まで造園関係にほとんど縁のなかで、簡単に経歴を紹介します。約38年間、わたり新潟大学農学部に勤務し、園芸学研究室で教育・研究に携わってきました。主な研究は「絶滅危惧種ヒメサユリの増殖と保護」です。講義は「花卉園芸学」を中心、「蔬菜園芸学」や「果樹園芸学」も担当したこともありました。「造園学」は大学時代に講義を受けたのみで、造園関連の教育・研究にはほとんど縁がありませんでした。しかし、大学在職中に国、県や市の各委員会委員に委嘱され、国営越後丘陵公園、新潟県立植物園や越後三国川ダム公園などの基本構想・計画の委員会に

その中心となる「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会は10月29日、東京・日比谷公会堂で13時半から16時半にわたって開催される。全国大会では、都市緑化功労者等の表彰をはじめ、「公園でウォーキングを楽しむ」と題して、ウォーキングドクターのデューク更家氏による講演を実施。

そのほか、第26回都市公園コンクール・国土交通大臣賞受賞団体による報告が行われます。会員各位の参加をお願

園、街路樹の整備等を推進し、住民参加による緑豊かな美しいまちづくりを開催するため、「都市緑化月間」を行っている。

有楽町駅前広場で行われたキャンペーンは、日造協をはじめ緑化関連団体等で構成する都市緑化推進運動協会（事務局・財都市緑化基金）が主催。国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会等の後援で実施された。

会場では、里山の象徴である「竹」の樂器作りを、来場者と行い、皆でコンサートを行う企画も展開。2011年開催の全国都市緑化がごしまフェアから、マスコットキャラクター

日造協理事、新潟大学名誉教授 新美芳二



日造協は、どうでしょうか？新参者のことは今では私の貴重な財産となっています。今回、日造協理事となつたことから、この協会の目的に沿つた役割を考え、造園関連諸事業に関わっていきたいと思っています。

今まで造園関係にほとんど縁のなか

で、簡単に経歴を紹介します。約38年間、わたり新潟大学農学部に勤務し、園芸学研究室で教育・研究に携わってきました。主な研究は「絶滅危惧種ヒメサユリの増殖と保護」です。講義は「花卉園芸学」を中心、「蔬菜園芸学」や「果樹園芸学」も担当したこともありました。「造園学」は大学時代に講義を受けたのみで、造園関連の教育・研究にはほとんど縁がありませんでした。しかし、大学在職中に国、県や市の各委員会委員に委嘱され、国営越後丘陵公園、新潟県立植物園や越後三国川ダム公園などの基本構想・計画の委員会に

日造協 都市緑化月間に合わせて展開

全国造園フェスティバル

会員が様々な催事を展開

ひろげよう育てようみどりの都市

10/29 日比谷公会堂で全国大会を開催

10月の「都市緑化月間」に合わせて、国土交通省、都道府県、市町村の主催で各種催事が行われる。

花と緑で美しい日本を！」をメインテーマに、日造協の会員が身近な公園や広場などを会場に全国で一斉に花と緑のアピールを行った「全国造園フェスティバル」が10月9日から11日を中心に全国各地の各会場で行われています。

最新の実施内容はホームページに掲載しています。



技術情報共有発表会の冒頭あいさつする藤巻司郎会長

日造協は9月10日、大阪市の大坂キャッスルホテルで、第4回技術情報共有発表会を開催し、会場には150名を超える会員が全国から集まつた。発表会は冒頭、藤巻司郎日造協会長が、「貴重な情報に触れるまたない機会であり、今日の発表を大いに役立てていただきたい」とあいさつ。技術委員会の大場淳一委員の司会で、講評を行う(社)日本造園学会副会長の増田昇(大阪府立大学大学院教授)の紹介に次いで、発表が行われた。なお、発表内容の詳細は後日、HPに掲載する予定です。

発表は、①東北総支部の草刈機事故ゼロをめざして、(2)関東・甲信(神奈川)の鎌倉鶴岡八幡宮大銀杏移の後、④近畿(奈良)の東

植について、③中部(静岡)の新しい造園技術「モザイカルチャヤー」の世界博とその後、(4)近畿(奈良)の東

院庭園復元植栽工事、(5)九州(福岡)の高架下緑化、(6)LI D(低影響開発)などと、(社)日本造園学会の「造園作

技術情報共有発表会を開催 総支部・支部、学会から発表6件

増田教授講評

品選集」にみる造園事業の変化と特長の6つの発表が行われた。

草刈の話からLIDの話まで、今回の発表を聞いて、造園技術の領域の幅広さを再認識し、東院庭園とモザイカルチャヤーに代表されるように伝統的なものから新しいものまで、新旧の奥深さもさもうかがえた。

日造協では、今年度の施工、管理が分離されてしまふ感じた。

近年は造園事業も、設計、施工、管理が分離されてしまふことを、改めて社会にアピールしていくことも重要

持続可能な未来へ」を掲げているが、名古屋での第10回生物多様性締約国議開催も踏まえ、生物、生命体を大切にしていることが、造園技術の基本的なところであり、出来上がった時が100%の土木や建築に対し、造園は出来上がった後も、ずっと「いのちを支える技術」を駆使し続けていくことを、改めて社会にアピールして、いくことも重要な感覚だ。

まい、東院庭園では、管理予算のカットの話もあつた。しかし、昔の庭園はすべてがつながり、保育することが当たり前だった。20世紀の建設の時代から、21世紀のマネージメントの時代、成熟社会の中での、より質の高い管理が求められ、かつての庭園管理のような造園技術を生かした保育ができる。これが、これでビジネスとして捉えることができるのではないか。

草刈機の課題も管理に適切な予算が見込まれていな

LIDは、鶴岡八幡宮の協働で、これまでにない植物を知る造園と、表

は、植物を知る造園と、表

現に優れたアーティストと、環境負荷低減に優れた技術

技術委員

区分	氏名	会社名	部会	支部
委員長	高橋 一輔	アゴラ造園(株)		東京
副委員長	卯之原 昇	株昭和造園	制度・資格	〃
〃	松本 透	株富士植木	企画開発	〃
〃	伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス	技術情報	〃
〃	鈴木 義人	(株)柳島寿々喜園	施工技術	〃
委員	河内 幹彦	横浜植木(株)北海道支店		北海道
〃	渡辺 裕一	(株)宮城県林業開発センター		宮城
〃	渡邊 進	(株)八廣園		埼玉
〃	生方 幸寿	東急グリーンシステム(株)	技術情報 制度・資格	東京
〃	大場 淳一	(株)大場造園	技術情報 制度・資格	〃
〃	荻野 淳司	アゴラ造園(株)	施工技術企画開発	〃
〃	梶井 直和	物林(株)	施工技術企画開発	〃
〃	小出 裕	(株)岩城	施工技術企画開発	〃
〃	高田 和己	東武緑地(株)	施工技術 制度・資格	〃
〃	中村 秀樹	内山緑地建設(株)	技術情報 企画開発	〃
〃	中村 良孝	(株)飛鳥	技術情報 施工技術	〃
〃	飯田 裕之	加勢造園(株)	技術情報 制度・資格	〃
〃	吉村 長泰	(株)吉村造園	制度・資格 企画開発	〃
〃	内田 卓弘	(株)内田造園	施工技術 企画開発	神奈川
〃	福沢 敏	綿半インテック(株)	技術情報 制度・資格	長野
〃	北 総一朗	北造園(株)		石川
〃	久保田健児	(株)東海美松園		三重
〃	井内 優	(株)井内屋種苗園		和歌山
〃	足利 茂	興國園芸(株)		広島
〃	高須賀盛満	高須賀緑地建設(株)		愛媛
〃	古賀 正	古賀緑地建設(株)		福岡
〃	永島 昌和	(有)桂植木		沖縄

事業委員

区分	氏名	会社名	部会	支部
委員長	梅川 真澄	(株)富士植木		東京
副委員長	望月 勝保	藤木園緑化土木(株)	事業企画	千葉
〃	風間 啓秀	日産緑化(株)	教育・研修	東京
〃	河嶋 功	イビデン・グリーンテック(株)	公益活動	岐阜
委員	四宮 繁	(株)四宮造園		北海道
〃	酒井 利明	アルファグリーン(株)	事業企画	秋田
〃	鈴木 一彦	(株)東松園	事業企画	千葉
〃	櫻井 道弘	王子木材緑化(株)	教育・研修	東京
〃	関根 武	内山緑地建設(株)	事業企画	〃
〃	添川 秀樹	株理研グリーン	教育・研修	〃
〃	寺崎 俊司	西武造園(株)	事業企画	〃
〃	丸 健一	住友林業緑化(株)	公益活動	〃
〃	丸山 賢史	(株)日比谷アメニス	公益活動	〃
〃	室橋 智	物林(株)	公益活動	〃
〃	榎本甲子男	藤造園建設(株)	教育・研修	神奈川
〃	加茂 輝隆	富山興業(株)		富山
〃	井原 剛	(株)愛樹園		静岡
〃	中島 祥之	花佐造園(株)		奈良
〃	持田 正樹	(株)もちだ園芸		島根
〃	稻富 俊広	有稻富造園		徳島
〃	鶴田 忠嗣	株鶴松造園建設		佐賀
〃	永島 昌和	(有)桂植木		沖縄

国際委員

区分	氏名	会社名	部会	支部
委員長	和田 新也	箱根植木(株)		東京
副委員長	松本 朗	(株)富士植木		〃
委員	芦部 健由樹	西武造園(株)		〃
〃	石渡 浩	箱根植木(株)		〃
〃	伊藤 幸男	(株)日比谷アメニス		〃
〃	関根 武	内山緑地建設(株)		〃
〃	高橋正之輔	アゴラ造園(株)		〃
〃	田丸 敬三	東光園緑化(株)		〃
〃	藤田 良司	(株)九州造園		福岡

倫理委員

区分	氏名	団体名
委員長	近藤 公夫	奈良女子大学名誉教授
副委員長	伊藤 英昌	(財)公園緑地管理財団副理事長
委員	初谷 雄一	(財)建設業振興基金専務理事
〃	蓑茂寿太郎	熊本県立大学理事長
〃	涌井 史郎	東京都市大学環境情報学部教授

アクションプログラム推進等特別委員

区分	氏名	会社名	部会	支部
委員長	和田 新也	箱根植木(株)		東京
副委員長	関根 武	内山緑地建設(株)		〃
委員	涌井 史郎	東京都市大学環境情報学部教授		
〃	須磨佳津江	キスター		
〃	大場 啓壽	青葉造園(株)		宮城
〃	有賀 光昭	西武造園(株)		東京
〃	奥本 寛	(株)日比谷アメニス		〃
〃	田丸 敬三	東光園緑化(株)		〃
〃	山田 康博	(株)サカタのタネ		神奈川
〃	土志田 淳	横浜庭苑(株)		〃
〃	久郷 憲治	(株)久郷一樹園		富山
〃	木山 総	(株)京阪神グリーン		大阪
〃	久保 和男	(株)葉緑化建設		佐賀

平成22年度 (社)日本造園建設業協会

総支部長・支部長が決定

総支部長・支部長

支部名	支部長	会社名
北海道総支部	笹本 知	(株)北海道造園コンサルタント
北海道	笹本 知	(株)北海道造園コンサルタント
東北総支部	渡部 佐界	庄内園芸緑化(株)
青森県	山谷 弘美	環境緑花工業(株)
岩手県	米内 吉榮	(株)米内造園
宮城県	阿部 紀久雄	東北緑化環境保全(株)
秋田県	加藤 薫	桂造園土木(株)
山形県	渡部 佐界	庄内園芸緑化(株)
福島県	櫻井 貞夫	桜井造園(株)
関東・甲信総支部	加勢 充晴	加勢造園(株)
茨城県	川上 一夫	(株)川上農場
栃木県	増田 博一	(株)増田造園
群馬県	山田 忠雄	山梅造園土木(株)
埼玉県	渡邊 進	(株)八廣園
千葉県	望月 勝保	藤木園緑化土木(株)
東京都	卵之原 昇	(株)昭和造園
神奈川県	山田 康博	(株)サカタのタネ
山梨県	齊藤 陽一	(株)富士グリーンテック
長野県	山㟢 信幸	(株)長遊園
北陸総支部	磯部 久人	グリーン産業(株)
新潟県	磯部 久人	グリーン産業(株)
富山県	久郷 憲治	(株)久郷一樹園
石川県	岸 省三	(株)岸グリーンサービス
中部		

関わっているのは誰も否定できません。これは基本的に「研究」と「教育」を連携させる意図であつたとは思いますが、さらにいえば、科学としての造園の発展を目指した一方で、科学では困難なアウラの体

造園における科学とアウラ

(社)日本造園学会理事、東京大学大学院農学生命科学研究科准教授

小野 良平
講評を述べる増田昇教授

昨年2009年は、学会の創設者である上原敬一先生の生誕120周年でした。これに合わせて昨年5月に東京で開催された学会全国大会のちょっとしたフォーラムにおいて、上原先生の「声」を聞く会が開かれ、先生の講義テープの一部を拝聴することができます。

私にとっては初めて接する先生の声でしたが、そ

の独特の語り口に触れてまず驚いたのは、不遜を承

知でいえば最初はそれが日本語なのかすらわから

ず、何を語つておられるのかほとんど理解できな

かったことです。

次第に慣れてきて徐々にわかるようになつたの

ですが、先生のお話の内容よりも圧倒されたのは、

甲高く緊張感に満ちたその声の放つAura(俗にい

うオーラですが、ここでは少々気取つてアウラとし

ましよう)です。声には肉声でなくとも活字からは

得られないアウラがあり、その強烈さが当初どこの

国の言葉かと惑わせたのかもしれません。

活字のみを媒介に繰り広げられる「学」の世界は

このアウラというものが極めて苦手です。というか

物事をそのアウラを遠ざけて理解しようとするのが

少なくとも今のところの学問・科学一般の世界です。

先生の声を聞きながら、造園学とアウラといふ、今

は少々かけ離れた関係に難念が拡がりました。

学問(科学)といふものは、こうしたアウラのよ

うなものを非科学的ないし主観的なものとして取り

扱い対象として避け、時として積極的に取り除いて

きました。しかし造園空間の本質にはこのアウラが

関わっているのは誰も否定できません。

上原先生は1925年に学会を興すとともに、一方でそ

の前年には周知のように東京高等造園学校を立ち上げま

す。これは基本的には「研究」と「教育」を連携させる意

圖であつたとは思いますが、さらにいえば、科学としての

造園の発展を目指した一方で、科学では困難なアウラの体

を持つることも社会にはあまり知られていない。

逆に生物学者などの中に

は、造園のつくるビオトープはエセで、生態などを知

らないという人もいる。経

験則、造園では当たり前の

ことも、造園技術として共

有し、広く社会の認知を得

た。

学会の目・眼・芽

第17回



講評を述べる増田昇教授

を持つることも社会にはあまり知られていない。

一方、屋上緑化はどんなものでも環境に優しいと思

うけれども大切だ。環境共生技術などと、うたつていいものとそうでないものと造園の立場から整理しておくることも大切だ。

造園は、公共造園の発達の過程で、公園緑地が、道路などのハード資本と同様に、ハード資本として共

有し、広く社会の認知を得たことによって、逆に環境負荷が大きくなる場合もある。こうした点はLID

を実践の場に託した、いわば「科学」と「ア

ウラ」の関係を考慮していたのかもしれません。

それから90近く時は経ちましたが、依然として科学の発展だけでなく、以前より技術・芸術への貢献

を目的に掲げています。会員も当初の研究者の寄り合いを超えて、実務家の方が多いのが現在の姿です。ならば学会はもっと造園空間のアウラに迫る

ことになります。

それから90近く時は経ちましたが、依然として科学の発展だけではなく、以前より技術・芸術への貢献

を目的に掲げています。会員も当初の研究者の寄り合いを超えて、実務家の方が多いのが現在の姿です。ならば学会はもっと造園空間のアウラに迫る

ことになります。大銀杏はまさに自然資本、地域の資産となつており、だからこそ、

これが、施設には過大な投資を必要。さらに、雨水が地表の汚染物質を下水道に流すことになる。下水道は

污水は処理するが、雨水は処理できない(分流式)。そのため雨水が運ぶ汚染物質は河川や湖沼、海が汚染され、汚染物質の生物的濃縮を招く。

そこで、根元から折れ、回復不可能だったが、①移植、②ひこばえの生育、③

草刈機事故ゼロをめざしてむづみ造園土木(株)工事主任 日景敏彦

定樹齢千年、高さ30m、目通り6・8mの大銀杏は、倒伏から約2カ月の間に再び、LIDの1つの事例として示されたビオトープを紹介します。

また、資本にはソフト資本もあり、LIDの1つの事例として示されたビオトープを紹介します。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

本日は講評というより、元気の出るお話を多く聞き、勉強させていただいた。

の考え方などを踏まえ、環境の資産になつてているか、環境共生技術となるよう

ことになります。

一方、屋上緑化はどんなものでも環境に優しいと思

うけれども大切だ。

環境共生技術となるよう

ことになります。

一方、屋上緑化はどんなものでも環境に優しいと思

建設の現場で働く人のための退職金

「建設業退職金共済制度」（以下「建退共制度」とは）とは建設現場で働く労働者のため、相互扶助の精神の基、法律に定められた国の退職金制度である。

簡単な手続きで加入ができる、事業主が現場労働者に労働日数に応じ、掛金（事業主全額負担）となる共済証紙（1日分310円）を貼り、労働者は、雇用される企業が変わっても建退共加入事業所であれば、継続して共済証紙を貼つてもらうことができる、建設業界全体の退職金制度であり、退職金は24月（21日を1月と換算）以上の掛け金納付により、建設業界で働くことをやめたときに建退共から直接労働者へ支払われる。

「造園CPD」会員申込み受付中

申込み締切は10／22（金）まで

③【上記以外】造園CPD協議会のホームページよりお申込み下さい。

造園CPDの活用状況

すでに多くの発注機関で

造園技術者の能力向上と客観的評価の指標となる「造園CPD（継続教育）制度」の会員申込み受付（後半）が始まりました。

造園技術者はどなたでも

所属により申込先が異なります。

①【日造協会員企業に所属している方】本部からの

お知らせメールにてご案内

しております。届いていな

い場合はお問い合わせ下さ

ります。

また今年度は、（社）日本造

園学会が行政機関等における造園CPD制度に対する

認識・理解の促進と、発注

時ににおける活用を促進のた

めに要望活動を行いました

ので、今後ますます活用さ

れることができます。

行つた。（10月1日、2日）

総務委員会・支部長合同会議

奈良県新公会堂において

開催され、藤巻会長の挨拶

の後、本部提出議題として

総務委員会からは新法人へ

の移行の基本方向等を始

め、技術委員会、事業委員

会、国際委員会等からは主

なこれまでの活動報告等が

行われた。その後、総支部

から提出議題について

意見交換が行われた。

会議終了後、新公会堂庭園

において、「花と緑のつど

い」が開催され、荒井奈良

県知事を始め多数のご来賓

が出席し、賑やかに意見交

換が行われた。

また、翌日は、全国都市

緑化ならフェアの視察を

に向けた検討を行うことと

建設業の取引の適正化に

ついては、法令の遵守等を

通り、その推進が図られて

きましたが、依然として不

適切な取引が指摘されてい

ることから、適正化を一層

推進する必要があります。

このため、11月1日から

11月30日までを「建設業取

引適正化推進月間」とし、

国土交通省、都道府県の主

は連携し、検査と指導が

行われます。

いたは、掛金の一部（初回交付手帳の50日分）が国から補助される。

退職金制度は、労働者に安心と希望を与え、事業主にとって優秀な人材の確保等、企業の価値を高める等、事業主・労働者双方にとって

利点のある制度となつていて大変魅力的なものであるといえる。

問い合わせは、（独）勤労者

退職金共済機構、建設業環境・公園施設をメインに道路、河川情報板、鉄塔、芸、各種競技場用照明、鉄塔、照明ポール、鋼構造物、自然エネルギー発電設備等の製品を設計から製作・加工組立、据付、メンテナンスが行なっている資格（街路樹剪定士・植栽基盤診断士・登録造園基幹技能者）をお持ちの方は、通常の年会費から1,000円割り引いた1500円／人で会員にならせていただきます。

テック大洋工業は、都市環境・公園施設をメインに「環境にやさしい製品」を意識し、環境にやさしくコスト削減を可能とする塗装「エコストコート」、環境対応型ユニット基礎「リユースベース」等を開発お客様より好評をいただいております。

これからもお客様のニーズにかなった製品作りをいたしております。

秋田事業所・静岡事業所・東京事業所・03-5703-1441

テック大洋工業株式会社

〒237-0022

神奈川県横浜市港北区

日吉2-1-1

TEL 045-431-6000

FAX 045-431-6001

E-mail tdk@tdk.co.jp

http://www.tdk.co.jp

お問い合わせ

お問い合わせ